

令和6年度 評価者フォローアップ研修(専門コース)基本編
【 利用者調査の手法を学ぶ ～高齢分野～ 】

(公財)東京都福祉保健財団 19階 多目的室1

《担当講師》

日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉援助学科 教授：下垣 光氏
 社会福祉法人正吉福祉会 理事：齊藤 貴也氏
 一般社団法人Riccolab. 代表理事：渡辺 真紀氏

《時間割》

時 間	科 目	講 師 等
10:00	5分 事前連絡	事務局
10:05	5分 ○開講挨拶	公益財団法人 東京都福祉保健財団 福祉情報部長 渡部 裕代
10:10 ～	60分 ○講義1 高齢者福祉制度の変遷と現状	日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉援助学科 教授 下垣 光氏
11:10	10分 休 憩	
11:20 ～	50分 ○講義2 利用者調査の意義	公益財団法人 東京都福祉保健財団 福祉情報部 評価支援室 手法担当
12:10	60分 休 憩	
13:10 ～	60分 ○講義3 聞き取り方式の対象となる利用者を理解する	社会福祉法人正吉福祉会 理事 齊藤 貴也氏
14:10	10分 休 憩	
14:20 ～	15分 ○オリエンテーション	一般社団法人Riccolab. 代表理事 渡辺 真紀氏
14:35 ～	85分 ○演習1 利用者調査の技法を学ぶ	社会福祉法人正吉福祉会 理事
15:50	10分 休 憩	
16:00	55分 ○演習2 利用者調査回答の振り分けを学ぶ	齊藤 貴也氏
16:55 17:00	5分 ○事務連絡 終了	(事務局)

※ 1日目の演習1・2では、特別養護老人ホームにおける聞き取り方式の利用者調査の技法を学びます。高齢の利用者の聞き取り場面として2通りのビデオを視聴し、ワークを通して、評価者として望ましい利用者調査の在り方や回答の振り分けについて学びます。施設利用者の思いを深く理解している施設長と、経験豊かな評価者である講師2名から、回答の振り分けについて解説があります。

令和6年度 評価者フォローアップ研修(専門コース)基本編
【 利用者調査の手法を学ぶ ～高齢分野～ 】

(公財)東京都福祉保健財団 19階 多目的室1

《担当講師》

社会福祉法人正吉福祉会 理事：齊藤 貴也 氏
 一般社団法人Ricolab. 代表理事：渡辺 真紀 氏

《時間割》

時 間	科 目	講 師 等
10:00	5分 事務連絡	(事務局)
10:05 ～	30分 ○講義4 場面観察方式の調査手法	公益財団法人 東京都福祉保健財団 福祉情報部 評価支援室 手法担当
10:35	10分 休 憩	
10:45 ～	60分 ○講義5 利用者特性に配慮した意向発信(サイン) の見出し方	社会福祉法人正吉福祉会 理事 齊藤 貴也 氏
11:45 ～	40分 ○演習3 線引きワーク	社会福祉法人正吉福祉会 理事 齊藤 貴也 氏
12:25	60分 休 憩	
13:25 ～	45分 ○演習4 個人調査シート作成ワーク	一般社団法人Ricolab. 代表理事 渡辺 真紀 氏
14:10	10分 休 憩	
14:20 ～	75分 ○演習5 合議結果作成ワーク	
15:35	15分 休 憩	
15:50 ～	40分 ○発表・講評	
16:30	10分 ○質疑応答	
16:40 ～ 16:45	5分 ○事務連絡 終了	(事務局)

※ 2日目の演習3・4・5では、
 認知症対応型グループホームにおける場面観察方式の調査方式を学びます。
 ビデオ視聴により、グループホームの日常生活の中で発せられた利用者のサイン(呼びかけ、
 声なき呼びかけ、まなざし等)に対する職員の関わりを観察し、グループワークを通じて場面
 観察方式の記載方法を学びます。
 利用者のサインはどこにあったのか、グループホーム利用者の特性に詳しい施設長が解説し、
 講評やグループワークで作成した「評価機関が選定した場面」と「評価機関が読み取った利用
 者の気持ちの変化」の記載について評価者が解説します。